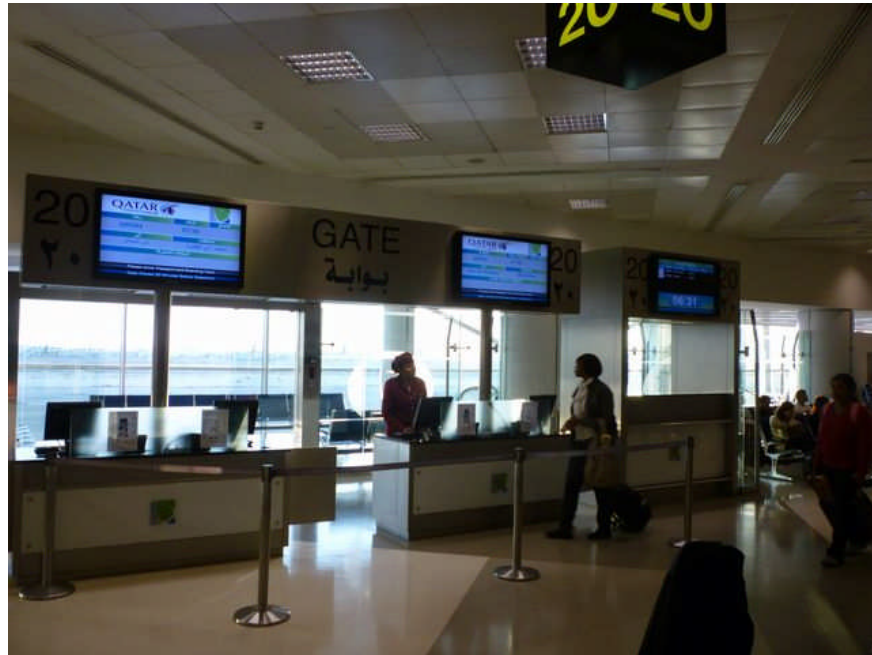


「スペイン9日間の旅」・・・高谷 昇（RSK OB）

11/24～12/2 までの9日間、夫婦でスペイン旅行をして来ました。

その旅行記を簡単にご紹介いたします。

1・11/24 22時20分関西空港集合、
00時20分カタール航空でドーハへ（飛行時間11時間10分）
（時差・日本/カタール -6時間）



「カタールのドーハ空港」



「飛行機内からドーハ港」

・・・機中泊

2・11/25 05時30分ドーハ着
08時10分ドーハ発～バルセロナへ（飛行時間7時間25分）
（時差・日本／スペイン -8時間）

13時35分バルセロナ着～専用バスで観光
建築家アントニオ・ガウディの建築作品群巡り、サグラダ・ファミリアや
世界遺産・グエル公園、カサ・ミラ（ミラ邸）、カサ・バトリョ（バトリョ邸）
夕食は名物シーフードパエリアと本場カタルーニャ州のお酒「カヴァ」

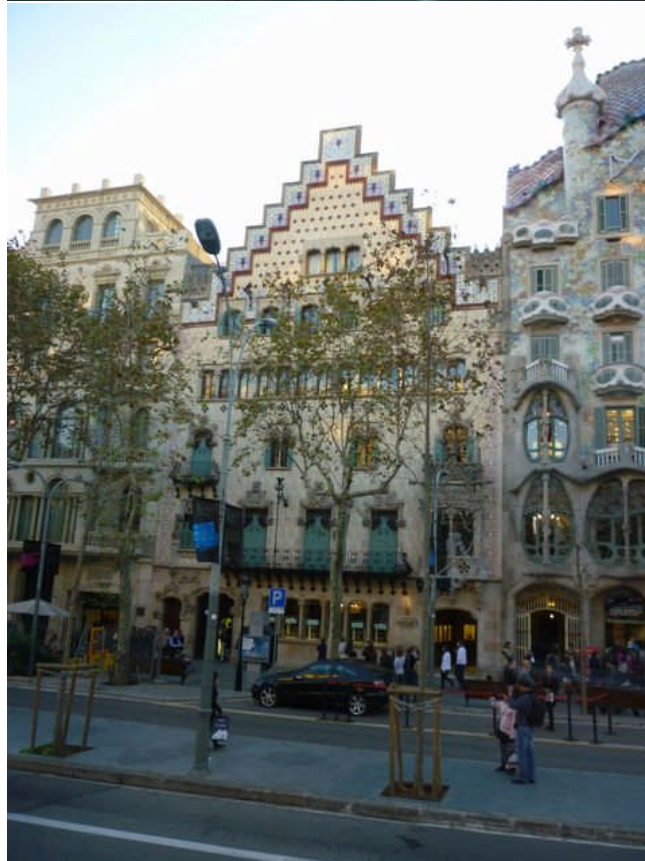


「サグラダ・ファミリア（聖家族教会）」

現在も建築中でパンフレットには完成は50年後か100年後になるとあるが、観光客が年間300万人と予想外に多くなり、後15年ぐらいで完成しそうだとのこと。大きな塔の左側の上に果物がのっている塔は日本人建築家が創作している。スペインでも日本人は活躍している。

ここで最初のトラブルが発生した。23人のツアー客はカタール航空の飛行機にドーハの空港で乗ったが添乗員が乗ってない。バルセロナ空港で大騒ぎ、スペイン語が話せる人はいない。英語も満足に話せる人もいない、みんなあわてた。他のツアーの添乗員に電話連絡が入り、オーバーシートだと断られたという。明日の朝ホテルに行くので今日は手配している現地観光ガイドと市内観光してくれとのこと。添乗員もドバイ空港で英語を駆使して頑張ったがNGだったとのこと。無事観光を終えて翌日の朝に添乗員と会えたので以降は安心して旅行できた。

・・・バルセロナ泊



「国葬された天才建築家アントニオ・ガウディの建築作品・バルセロナ市内」

3・11/26 8時30分バルセロナ発～タラゴナへ、世界遺産ラスファラレス水道橋を見学
 昼食は海鮮スープのサルスエラ～バレンシアへ市内観光
 世界遺産ラ・ロンハ、カテドラルを観光～エルチェへ・・・エルチェ泊

4・11/27 8時30分専用バス～グラナダへ

昼食はソバ・デ・アホ

グラナダ観光、世界遺産アルハンブラ宮殿とヘネラリーフェ庭園



「世界遺産アルハンブラ宮殿とヘネラリーフェ庭園」



「世界遺産アルハンブラ宮殿とヘネラリーフェ庭園」



「夜は洞窟の中で開催されるフラメンコ ドリンクショーを見学」

・ ・ グラナダ泊

5・11/28 8時30分専用バス～ミハスへ白壁の美しい家々が建ち並ぶミハス散策
 昼食はメルルーサを賞味する、アンダルシア地方のお酒「シェリー酒」を飲む
 ～ロンダへ、切り立った断崖絶壁の上に築かれた町ロンダ観光、ヌエボ橋、旧市街



「切り立った断崖絶壁の上に築かれた町ロンダ」

観光後～コルドバへ

・・・コルドバ泊

6・11/29 9時00分専用バス～イスラム文化が開花した世界遺産コルドバ歴史地区観光へ
キリスト教のカテドラルが混在するイスラム寺院メスキータ、
白い家並みに囲まれた「花の小径」、昼食は中華料理
～マドリッドへ、途中コンスエグラに立ち寄り風車を見学



「コンスエグラの風車」 （現在は観光用に風車を保存）

・・・マドリット2連泊

7・11/30 9時00分専用バス～マドリッド観光、 スペイン王宮、スペイン広場見学、
世界3大美術館の一つプラド美術館見学



「世界3大美術館の1つ プラド美術館」



「マトセリッドでの昼食風景、午後2時～4時までシエスタ、即ち昼寝」
経済、財政が厳しくなるのも理解できる。日本人はよく働く・・・



「マドリッドで観光客を乗せて走るオープンバス」

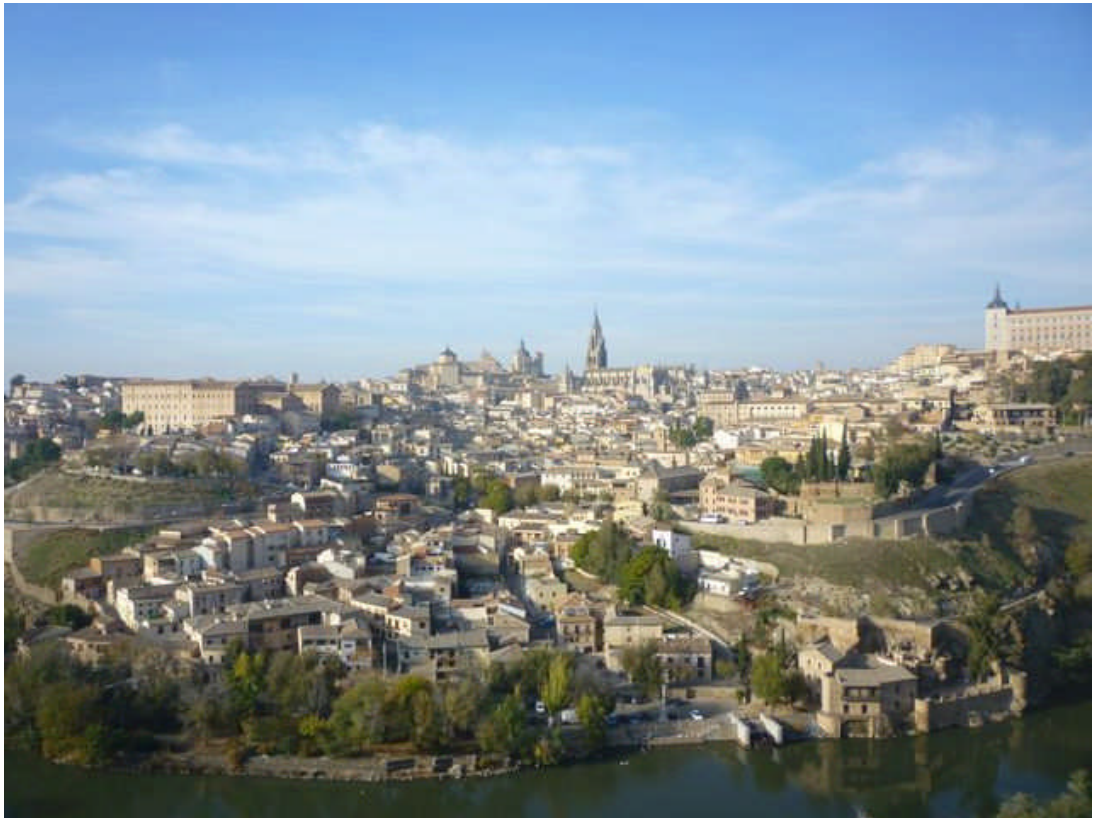


「スペイン広場」



「スペイン広場の子供たち」

14時00分～世界遺産トレド観光へ、



「世界遺産トレド（首都がマドリッドに移るまで首都だった）」



「トレドの川と橋と城壁は昔も今も変化なし」
夕食は仔牛のロースト とお酒「サングリア」を

・・・マドリッド泊

8・12/01 国立ソフィア王妃芸術センターでピカソ、ダリ、ミロ、など現代美術見学
スペイン内戦への憤慨を表現したピカソの「ゲルニカ」は写真撮影禁止だった。



「ピカソ」



「スペインの地下鉄、1.5ユーロ」



「スペインTVの美人ニュースキャスター」



「スペインの美人お天気キャスター」



「ドンキホーテ・・世界中で1番読まれている本は聖書、2番目はドンキホーテ」



「カタール航空のキャビンアテンダント、ANAと提携し日本人や各国人が」

1 5時05分マドリッド発カタール航空にて～ドーハへ（飛行時間6時間45分）
2 3時50分ドーハ着

・ ・ 機中泊

9・12/02 01時30分ドーハ発～日本へ（飛行時間9時間00分）

帰りは偏西風の影響で飛行時間は短くてすむ・ ・

16時30分関西空港着、解散～高速ハイウェイバスで岡山へ

（雑感）天気が9日間晴天だったのがうれしい。それまでは2週間ぐらい雨が降ったり、曇ったり、日ごろの行いが良かったのか？、西洋は人、建物、文化、歴史、宗教などがらっと変わるので気分転換にはなる。畑は見渡す限りオリーブの木、世界一のオリーブ輸出国である。次の畑はワイン用のブドウ、バレンシア地方はオレンジである。生ジュースはおいしかった。世界遺産第1位国はイタリアでスペインは第2位である。生ハム、チーズ、フランスパン、野菜サラダ、・ ・ うどん、ラーメン、白いご飯、寿司、天ぷら、日本の魚、など和食が欲しかった。ビールはまあまあでしたが、日本のビールがやはりおいしいです。物乞いや路上生活者などもありました。どの国も格差は広がっているようです。夏は暑いので仕事をしない。冬は寒いので仕事をしない。春と秋にちょこっと仕事をする。昼寝はする。納税はしない。これでは国も傾くでしょう。地方自治体が失業者対策で公園や道路の掃除をさせていたが、日本も生活保護206万人、せめて掃除してもらえれば観光地などきれいになるだろうに・ ・



「コンスエグラの風車」前で妻と

2011年12月08日 記